



# 地域医療連携室だより Vol.78

平成 27 年 12 月 1 日発行

発行元 大津市民病院地域医療連携室

住所 〒520-0804

滋賀県大津市本宮二丁目 9 番 9 号

TEL 077-526-8192

<http://www.municipal-hospital.otsu.shiga.jp/>

## 脳・神経外科 の紹介

大津市民病院、脳・神経外科の現在の取り組みについて報告させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

大津市民病院、脳・神経外科では、伝統的に脊椎脊椎疾患の治療に携わってきました。今後も同様に脊椎脊椎疾患の患者様を中心に担当いたします。さて、超高齢化社会を迎えた我が国にとって、脊椎脊椎疾患のうち骨粗鬆症を基盤とする骨脆弱性骨折である腰椎圧迫骨折は、その発生が増加傾向にあります。WHOによると、「骨粗鬆症は単に骨脆弱性が増した“状態”ではなく、骨折を生じるにいたる病的過程を有する“疾患”であり、骨折は合併症の一つである」と定義しています。また骨粗鬆症 2015 年版ガイドラインでは、骨粗鬆症患者数は推計 1,280 万人に上るとされています。ひとたび合併症である腰椎圧迫骨折が生じると、急性期には疼痛、神経合併症などが併発する可能性があり、慢性期には運動機能の低下、他の骨折への連鎖と介護量の増大、そして遠くは健康寿命や生命予後へも影響するといわれています。



高山 柄哲  
脳・神経外科  
診療部長

当院では、急性期における疼痛への除痛(椎体形成術を含む)や、神経合併症に対する減圧術、また脊柱の支持性低下や変形に対する矯正固定術などの外科的治療を主におこなっています。しかし、骨粗鬆症は全身病であり、骨折局所のみに対する急性期治療だけでは不十分であることは明らかです。最近では、エビデンスのある内服薬、注射薬が続々とだされ、投薬期間も日毎、週毎、月毎、さらに半年毎などバラエティーにとみ、患者様の様々なニーズに対応できるようになっています。しかし様々な臨床研究からは、合併症である骨脆弱性骨折にのみ目をとられ、元疾患である骨粗鬆症治療と二次骨折に対する予防的治療は、まだまだその取り組みは端を発したにすぎない状況であるようです。当院の脳・神経外科が対応しカバーできる内容には限りがあります。これから益々深まる高齢化社会において、広く骨粗鬆症と向き合い骨折合併症の“予防”にまで考えを広げるとき、地域の開業医先生とともに行う密な病診連携やパスなどによるセーフティーネットが必須であると考えています。徐々にではありますが、今後そういった連携の枠組み作りにも着手する予定であります。その節には、何卒、お力添えをいただきたく存じます。以上、当院、脳・神経外科で現在注目しておりますトピックにつき報告いたしました。有難うございました。

脳・神経外科 外来担当表(平成 27 年 12 月現在)

		月	火	水	木	金
1 診	午前	高山	高山	横山	林	横山
2 診	午前	牧	林		阿河	吉岡

☆ 赤字は女性医師

## RRSが稼動しました



加納 正人  
患者総合支援センター 次長  
RRS 部会 部会長



大津市民病院では、9 月 1 日より Rapid Response System (ラピッド・レスポンス・システム(以下 RRS))を稼動しました。

RRS は、患者様の病状の変化に早期に対応し、急変を予防するための院内の取り組みです。日本ではまだ耳慣れない取り組みですが、アメリカ、カナダ、オーストラリアでは 1990 年代より取り組みが始まり既に大多数の施設で稼動しています。日本では、2008 年の医療安全全国共同行動以来、徐々に稼動施設が増加しつつあります。

シミュレーショントレーニングなどにより病棟看護師の気付きのレベルを上げ、RRS コール基準を設けて医師に連絡します。主治医が直ちに診察に行けない場合、救急診療科などのリーダー医師、研修医、ICU 看護師からなるラピッド・レスポンス・チーム(以下 RRT)が患者様の元に診察に行き病状を評価して安定化を図ります。

RRS を稼働させるためには、病棟の看護師のレベルアップ、各診療科医師の理解と協力、診療に当たる RRT のトレーニング、活動の振り返りとフィードバックの仕組みが必要です。病状急変の予防だけでなく、院内の良好なコミュニケーションなど職場文化の改善につながり、総合的に患者様の安全向上と医療の質の改善をもたらすものと期待しています。

# 大津市民病院大学レポート

## 第7回 健康講座 大津市民病院 9階大会議室

11月19日(木) 14時～15時

講師は内科診療部長 磯野元秀医師、テーマは、「慢性腎臓病って知ってますか?」で、参加者は院内7名、院外50名の計57名でした。

内容は、慢性腎臓病の全体像や早期発見の大切さ、治療についてなどで、分かり易い講師のお話を受講者の皆さんもとても熱心に聴講されていました。

終了後の参加者アンケートでも、「資料も説明も丁寧で非常に分かり易かった」「内容が大変充実していた」などの意見が多く好評でした。



今年度の大津市民病院大学・健康講座は全講座修了しました。来年度も魅力あるテーマで開催していきたいと思っております。

## 臨床検査の日・ミニ検査展

11月11日大津市民病院の正面玄関ロビーにおいて、「ミニ検査展」を開催しました。初めての事で戸惑いもありましたが来場者の方々には興味を持っていただけました。

臨床検査を広く知ってもらえるよう、よりよい検査展を来年も開催する予定です。



## 災害医療訓練を実施しました

11月21日(土)9時～12時、大津市民病院2階外来AB・CDフロアにて災害医療訓練を実施しました。

訓練は、国道1号線大津市民病院前において、走行中の観光バスに大型トラックが急スピードで追突、多数の死傷者が発生し、当院へ傷病者が殺到するという想定のもと、①本部運営訓練②トリアージ訓練(傷病者受け入れ訓練)を中心に行いました。

災害医療という非日常的な大混乱状態の中、錯綜する情報をいかに整理して効率良く伝達していくかが大切であると実感した訓練でした。今後も職員一同気を引き締めて取り組んでいきます。



## 第22回総合内科症例検討会を開催します

日時: 12月10日(木) 17時30分～(約1時間)

場所: 大津市民病院 9F 大会議室 A・B

テーマ: 「発熱、悪寒後に血圧低下をきたした

70歳代男性の一例」

症例提示: 総合内科 島本 綾子 医師

公開講座としておりますので、院外からも多数のご参加をお待ちしています。



## 公開講座

## 糖尿病110番

～尿からわかる糖尿病と合併症～



11月8日(日)13時～16時

大津市民病院 2階 外来 ABフロア

11月14日の世界糖尿病デーに合わせ、第4回となる「糖尿病110番」のイベントを開催しました。

当日は糖尿病に関する公開講座の他、血糖測定や栄養部のカードバイキング、リハビリテーション部のセラバンド体操、募集した糖尿病川柳の人気投票なども行いました。計43名の方にご参加いただき、楽しみながら学んでいたかひとときとなりました。



●糖尿病川柳人気上位3作品

「甘いもの すぐに手が出る 血統か」

「登ドンか? ふらついたんだよ 低血糖」

「診察場 俺は知らない 食ってない」

## マンドリンとギターによる ロビーコンサート



11月11日(水)、大津市民病院の1階正面玄関ロビーにおいて、外科診療部長 柳橋 健 医師と、『ぽこ あ ぽこ & ぽこ りっと』の皆さんによるロビーコンサートを開催しました。

マンドリンとギターの音色が調和して和やかな空気に包まれたロビーでは、音色に聞き入る方、思わず立ち止まる方、演奏に合わせて手拍子や歌を口ずさむ方もおられ、最後にはアンコールにも応えていただき素敵な時間が流れました。

## 年末年始のお知らせ

大津市民病院は12月29日(火)から1月3日(日)までお休みをいただきます。(救急診療は通常通り) 診療所様からの検査・診察予約は、12月28日(月)20時まで受付させていただきます。